

名古屋大学特別講演会

ロビン・マーフィー氏

(テキサスA&M大学 ロボット支援探索救助センター所長)

日時：2015年9月11日(金)
10:30-12:00

場所：名古屋大学野依記念物質科学研究館
2階講演室

名古屋市千種区不老町 地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車

テーマ：「ロボット開発の日米協力
—新たなビジネスの創造へ—」

- * 使用言語は英語（日本語による同時通訳あり）
- * 入場無料
- * 駐車場のご用意はございませんので、公共交通機関をご利用ください。
- * 申込方法
準備の都合上、8月31日(月)までに教育推進部事業推進課
(e-mail: Intl@adm.nagoya-u.ac.jp)へお申し込みをお願いします。
ただし、お申込みがなくても入場可能としますが、多数申込みがある場合は、
立ち見もしくは、入場できないこともあり得ますので、あらかじめご了承ください。

講演概要：

本講演では、災害救助活動におけるロボットの役割を研究しているテキサスA&M大学のロビン・マーフィー博士がロボット開発における日米協力関係と、それがもたらすビジネスチャンスについて講演と質疑応答を行ないます。今後更なる発展が期待されるロボット開発分野では、どのような可能性が秘められているのか。この分野で今後チャンスを掴むためには、何をすべきなのか。特にロボット開発に興味のある学生・若手研究者にとって有益な講演です。



講演者略歴：

テキサスA&M大学コンピューターサイエンス・エンジニアリング部のレイテオン社記念教授。IEEE研究員であり、ロボット支援探索救助センター(CRASAR)の所長も務める。ジョージア工科大学で博士号を取得。人工知能およびレスキューロボットに関する人間とロボットの相互作用を研究している。

問い合わせ先：名古屋大学教育推進部事業推進課 052-789-2044

主催：在名古屋米国領事館 共催：名古屋大学